

## 全校朝会 0720 ～新型コロナウイルス感染症に関するいじめ～

おはようございます。

今日は、オーストラリアに住む8歳の男の子、“コロナ君”の話をします。

コロナ君は、自分の大好きな俳優さんが新型コロナウイルスに感染したことを知り、その俳優さんに、「お体は大丈夫ですか？」というお見舞いの手紙を送りました。心優しいコロナ君です。実は、その俳優さんに送ったお手紙の中には、「自分は、学校でいじめにあいました。」とも書かれていたそうです。

コロナ君が、どのようないじめを受けたのか、想像してみてください。

…（考える時間）…

きっとほとんどの人が同じことを想像していると思います。

そう、コロナ君は、お父さんお母さんが考えてくれた大好きな自分の名前を、感染症とつなげられ、仲間からからかわれたのです。

みなさんはこのお話を聞いて、何を感じたでしょうか。

この前の土曜日、3年1組のみなさんが、新型コロナウイルス感染症にかんする道徳の授業を行っていたので、見に行きました。

担任の先生から、新型コロナウイルスに感染して治ったにも関わらず、避けられたり、仲間に入れてもらえなかったりした人の話を聞いていました。

その話を聞いた後、ウィルスと戦いやっと治ったのに差別をされた人の気持ち、さらには、感染して治った人を避けるなどの差別をした人の気持ちについても真剣に考えていました。

この授業で発言した3年生の考えを聞いていて、御田小学校のみなさんは、「コロナ君が学校で受けたいじめを想像はできても、そのようないじめをしてしまうことは“決してない”。」と思いました。

なぜなら、からかわれたコロナ君が、悲しく辛い思いをしたことをしっかりと想像できると思ったからです。

コロナ君から手紙をもらった俳優さんは、コロナ君にこのような励ましのお返事をしたそうです。

大好きな友達のコロナ君へ

君の手紙で僕は素晴らしい気持ちになりました。気分が落ち込んでいる時に励ましてくれるのが友達です。素敵な友達になってくれてありがとう。“コロナ”は、太陽の周りに輝く光の輪という意味もあります。この素敵な名前をもつ人と知り合ったのは、僕の人生で君が初めてです。

（一部抜粋、一部意訳）

これからみなさんの学級でも、コロナ感染症に関する授業を行うことがあると思います。予防に気を付けていても感染してしまった人もいますし、感染した人を助けるために必死に仕事をしている人もいます。そのような人たちの気持ちを深く想像し、自分はどのような行動をとったらよいのかしっかりと考えていってほしいと思います。